

日本共産党議員団は3人になりました

2+1が10になるように、

頑張ります、

議員団長 杉本 敏宏

13日投票の増員選挙で、日本共産党は、吉川区で橋爪法一氏が当選、頸城区の上野公悦氏は惜敗しました。議案提案権を持つ4議席にはなりませんでしたが、3名の強力な議員団になりました。2+1が3ではなく、5にも10にもなるようにがんばりたいと思います。

13区の議員18人が加わったの本格的な議会(3月定例議会)が2月28日から開かれます。3月議会は予算議会、新年度予算案の審議が中心です。17年度予算は、市町村合併した最初の予算です。一般会計で1008億円を超える規模に膨れ上がりました。特別会計(13会計から18会計)も合わせると、1881億円という規模です。市債は新たに113億7千万円も発行されることになります。

日本共産党議員団では、「これまでの合併論議の結果が、どのように反映しているか」「住民要求が実現しているか」「不要不急の事業はないか」などを中心に、議論を展開していきたいと考えています。

地道な活動見習い、一致団結して
樋口 良子

橋爪さんは26年間、吉川の住民に寄り添い活動してきた人です。いまでは、住民にとって、なくてはならない存在になっています。



吉川区での勝利は全国を励ましています。定数1でも議席を獲得できたのはなぜか、今回のたたかいはいくつものドラマがありました。詳しくは「しんぶん赤旗」日曜版の2月27日号を読んでください。そしてこの記事を紹介しながら、もっと大勢の市民から読者になってもらいましょう。(写真は2月19日、吉川区大乘寺にて赤旗編集部の森保カメラマン撮影)

日本共産党上越市議団ニュース

NO1 2005年2月27日
連絡先 杉本敏宏 524-3787(東本町5)
樋口良子 544-6802(中門前3)
橋爪法一 548-3628(吉川区)

「町政レポート」の毎週発行など地道な努力の積み重ねが橋爪さんの勝利に結びついたと聞いています。私も見習いながら、新しい上越市民21万人の利益を守り、暮らしを守るため、議員団3人の団結を重視してがんばります。

どこへも飛んで行きます

橋爪 法一

今度、上越市議団の仲間にならせていただきます。ご支援、ほんとうにありがとうございます。

合併によって、この地域の日本共産党の議員は私たち3人となりました。3人は選出基盤がちがいますが、上越市全域に責任を負う議員です。中郷であろうが、大島であろうが、住民要求のあるところ、どこへでも飛んで行きます。私はいつも軽トラに乗って走り回ります。いつでも、どこでも、どこからでも声をかけてください。



杉本

橋爪

樋口